

○市民意向

1. まちづくりワークショップ

中心市街地グランドデザインまちづくりワークショップの実施結果

「中心市街地グランドデザインまちづくりワークショップ」では、「訪れたいまち」、「住みたいまち」、「活力があるまち」という3つのテーマごとに分かれてグループワークを実施しました。

資料編

3 中心市街地グランドデザインまちづくりワークショップの実施概要

中心市街地グランドデザインの策定にあたっては、市民の求めるまちづくりや将来像等を把握するため、まちづくりワークショップを3回開催しました。

■参加者募集の概要

募集対象	原則、3回全てに参加できる方
募集期間	令和3年6月15日から6月30日
応募方法	持参・郵送・ファックス・電子メール・オンラインにて受付

■実施概要

回数	開催日	参加者数	テーマ	実施概要
第1回	令和3年 7月25日 (日)	23人	中心市街地の魅力と問題点を 考えよう！	中心市街地の現状について学び、 魅力と問題点を探しました。
第2回	令和3年 8月22日 (日)	20人	まちづくりの取組を考えよう！	まちづくりの方向性毎に、魅力を 伸ばす/課題を解決するための取組 を考えました。
第3回	令和3年 10月3日 (日)	20人	まちづくりのアイデアを 取りまとめよう！	第2回で取りまとめた取組の中か ら、重要だと考えるものの選定を行 いました。

(出典：小牧市中心市街地グランドデザイン（令和4年3月）資料編)

旧図書館跡地の活用を含む中心市街地のまちづくりの方向性等について、下記のとおり意見がありました。なお、赤枠で囲まれた取組内容は、第3回のワークショップで重要と考えられたものです。

◎「訪れたいまち」グループ

WSで出された魅力	WSで出された問題点	取り組み方針	施策(案)	取組内容(案)
<ul style="list-style-type: none"> 若い世代が多い こまきこども未来館は子どもに魅力がある シンボルロードは歩道も広く、美しい 歴史的な社寺が多い 地域に豊富な歴史資源がある 小牧山(観光、緑、城下町)がある 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食する場所がない 若い世代に対する魅力が少ない 新しい公益施設の情報発信が不足している 小牧の歴史に関する市内外に対する情報発信が不足 歴史、文化の全体像がとらえづらい れきしるこまきの更なる内容の充実が必要 歴史、文化に関する情報発信が不足している 歴史からんだ小道が少ない 散歩道がない 	地域資源や景観などの魅力を活かし、歩いて楽しむことができるまちづくり	1-1 歩道・広場空間の魅力向上	① 賑わい広場で、若い世代が関心をもってもらえるように若者が企画したマルシェやまち歩き等のイベントを開催 ② 飲食や休憩が出来るようなオープンカフェやパークレット等の設置 ③ 冬季のイルミネーションのような季節ごとのイベントの実施 ④ 常時活用できる施設(トリックアート、迷路)等を設置する ⑤ 車道を狭めて透水性のある歩道を拡幅する
			1-2 歩いて楽しい歩道ネットワークの構築	① 小牧駅から小牧山までの距離感を短くするまちづくりの工夫(街並の形成、歩行者支援交通手段の導入) ② 小牧駅から小牧山を結ぶ拠点として旧図書館跡を活用する ③ 石碑や道標などを活用した空間づくり ④ 路地空間等へ特色のある飲食店舗等の誘導 ⑤ サインや案内誘導設置等の歩きたくなる空間整備 ⑥ 小牧駅から小牧山までつながりのある景観づくり(やすらぎ道の景観形成の継続) ⑦ 若者が使用するアプリを活用して、おしゃれな紹介動画を載せる ⑧ 木陰ができる「ほっ」とできる空間づくり
			1-3 歴史・文化資源の活用	① 秋葉祭りの山車の保存、展示方法の検討 ② れきしるこまきを拠点とした情報発信の強化 ③ 社寺を市民の交流の場として活用 ④ 歴史周遊まち歩きルートの設定や、神社仏閣などの見学資料の配布 ⑤ 歴史を物語るシンボルモニュメントの設置 ⑥ 駅前空間を活用して(全体像がわかるように)小牧山城や城下町でテーマにしていたミニ公園づくり ⑦ 歴史的な番組との連携、マスコミの活用 ⑧ 「中央図書館」と「れきしるこまき」との連携による小牧山や信長等に関するSNSネットワークの構築 ⑨ 歴史に関するゲーム等で若い人へ小牧の歴史をPRする

◎「住みたいまち」グループ

WSで出された魅力	WSで出された問題点	取り組み方針	施策(案)	取組内容(案)
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設が充実している 小牧山の景観が良い 図書館ができて文化的な街に変わろうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店が少ない 駅前が寂しい雰囲気 防災の拠点が見えない 魅力的な公園の整備が必要 	都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせることができるまちづくり	2-1 土地の高度利用による居住の推進	① 居住希望者への支援策の検討(物件情報の提供など)
			2-2 緑とやすらぎのあるまちの創造	② 共同住宅建設事業者への支援策の検討(店舗複合型施設への補助等)
				③ 子どもが安心して遊べる空間整備、子育て世代同士の交流が育まれる機会の創出
				④ 高齢者が生き生きと暮らしつつげられるまちづくり
				⑤ 民地緑化の推進(補助制度の検討)
			2-3 地域で支え合うまちの創出	① パブリックアートの設置
				② 中央図書館の活用と周辺空間との連携強化
				③ メナード美術館の周知や周辺まちづくりの推進
				④ 小牧市の文化や歴史を子どもたちに知ってもらえる活動(小牧山や上街道巡りなど)の推進
				⑤ 子どもが安心して遊べる空間整備、子育て世代同士の交流が育まれる機会の創出
				⑥ 高齢者が生き生きと暮らしつつげられるまちづくり

◎「活力があるまち」グループ

WSで出された魅力	WSで出された問題点	取り組み方針	施策(案)	取組内容(案)
<ul style="list-style-type: none"> 小牧駅周辺は利便性が高く住みやすい 地域行事(山車祭等)が盛り上がる 子育てしやすい環境がある 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前に活気が乏しい 空家のメンテナンスができていない イベントする際のルールなど簡単にできないことが多い バリアフリー等、増える高齢者への対応が必要 市内や市外に移動するには公共交通が不便 	特色のある店舗等が集積し、新たな発見や出会いがありチャレンジを応援するまちづくり	3-1 リノベーションまちづくりの推進	① 貸主と借主のマッチングの仕組みづくり
			3-2 多様な人が主役となりにぎわいを生み出す環境の創出	② 空き店舗のリノベーションに対する補助制度の検討
				③ 遊休不動産の利活用制度の検討
				④ 特徴のある店舗や人気店の立地促進
				⑤ 公共空間のイベント活用における支援、行政手続きのワンストップ化
				⑥ チャレンジジョブ制度等の導入検討
				⑦ イベント開催やコミュニティビジネスの起業等にチャレンジする人材の育成
				⑧ 外国人も含めた多様な文化共生を活かしたにぎわいの創出
				⑨ 若い世代が関心を持ってもらえる若者が企画したマルシェやまち歩き等のイベント開催
				⑩ 飲食や休憩が出来るようなオープンカフェやパークレット等の設置
				⑪ 特徴的なテーマを持ったイベント開催による市民と観光客等の来街者との交流促進
				⑫ 高齢者が集える交流スペースの配置
			3-3 利便性の高い公共交通ネットワークの充実	⑬ 公有地等を活用した簡易な飲食施設やキッチンカー等の立地誘導
				⑭ 多世代カフェやコミュニティカフェなど集える場づくりの推進
				⑮ まちづくりのリーダー育成
⑯ 名古屋市や隣接都市間を連絡するバスネットワークの充実				
3-4 利便性の高い公共交通ネットワークの充実	⑰ 人に優しい交通網の整備や仕組みの創出			
	⑱ 木陰にあるランニングコースやサイクリングコースなどの設定			
	⑲ 大規模駐車場整備やパークアンドライド推進、こまかくの本数増を検討する			
	⑳ 自転車シェアリングサービスの導入			
	㉑			

中心市街地まちづくりワークショップの実施結果

第3回中心市街地まちづくりワークショップ実施結果

本ワークショップは、「中心市街地グランドデザイン」のまちの将来像の実現に向けて、様々な立場の人たちが共に中心市街地のまちづくりについて考えるために開催しました。今回は、第2回で整理したアイデアをワークシートにまとめ、グループ毎に企画発表しました。その後、発表を聞いた参加者全員からのフィードバックを付箋に記入して取りまとめ、意見交換を行いました。最後に、都市計画に携わっているゲストの方々から講評をいただきました。

第3回 アイデアを企画にして発表しよう

【日 時】2023年1月15日（日） 13：30～16：00

【会 場】まなび創造館 研修室

【参加者数】28人

【テーマ】中心市街地をもっと楽しめる場所にするために私たちがやってみたいこと

【プログラム】

- 1.挨拶
- 2.発表準備
- 3.グループ発表
- 4.意見交換
- 5.グループPR
- 6.ゲストからの講評
- 7.その他

▶発表・意見交換の様子

▶各グループのワークシート

グループA / 茶屋

ワーク01 企画名を「ひとこと」でどうぞ！
タイム ピクニック

ワーク02 ビジョンを描いてみましょう！
 駅山小牧山が 時代の流れを 象徴する存在
 人々 が 注目される
 中心市街地がもっと 訪れたい まち になります。

ワーク03 その企画をすることで誰にどんな価値や効果を生み出しますか？
 市内・市外 年齢 国籍を問わず 皆を惹きつけるような シンボルロードをつくることで 相乗効果がもたらされます。

①語のいる時や可
 時代に合わせた 茶屋・カフェ等配置

過去 現在 未来

【なにを】時代の背景を活かした茶屋6軒

市風が異なる茶屋
 宇治 煎茶・抹茶・お茶・お菓子・和菓子
 京都 抹茶・煎茶・お茶・お菓子・和菓子
 小牧山 煎茶・抹茶・お茶・お菓子・和菓子
 大津 煎茶・抹茶・お茶・お菓子・和菓子

時代の背景を活かした茶屋
 小牧山 煎茶・抹茶・お茶・お菓子・和菓子
 大津 煎茶・抹茶・お茶・お菓子・和菓子

未 未来
 現 現在
 過 過去

小牧山 煎茶・抹茶・お茶・お菓子・和菓子
 大津 煎茶・抹茶・お茶・お菓子・和菓子
 スター・ルン・コンパンド

グループB / レジャー

ワーク04 企画を具体的にしてみましょう！
夏のイベント
 * 子供も大人も楽しめる
 * 大人も子供も楽しめる
 * ファミリー向けイベント
 * 自然・歴史・環境を体験

ワーク01 企画名を「ひとこと」でどうぞ！
泊まる駅山「こまき山」
 ～小牧山でキャンプをしよう！～

ワーク02 ビジョンを描いてみましょう！
 小牧山 が 泊まる駅山化 () するここで
 小牧山 周辺エリア が くらげやまの まちがや () () になり
 中心市街地がもっと 訪れたい まち になります。

ワーク03 その企画をすることで誰にどんな価値や効果を生み出しますか？
 家は普段小牧山に行かなくても 市民 (主婦層、ファミリー、新世代) により小牧山を知ることができ、市の愛着や興味関心もわく、6人いる。 2次効果も、市外からAPRにもなる。

ワーク04 企画を具体的にしてみましょう！
夏のイベント
 * 子供も大人も楽しめる
 * 大人も子供も楽しめる
 * ファミリー向けイベント
 * 自然・歴史・環境を体験

ワーク01 企画名を「ひとこと」でどうぞ！
泊まる駅山「こまき山」
 ～小牧山でキャンプをしよう！～

ワーク02 ビジョンを描いてみましょう！
 小牧山 が 泊まる駅山化 () するここで
 小牧山 周辺エリア が くらげやまの まちがや () () になり
 中心市街地がもっと 訪れたい まち になります。

ワーク03 その企画をすることで誰にどんな価値や効果を生み出しますか？
 家は普段小牧山に行かなくても 市民 (主婦層、ファミリー、新世代) により小牧山を知ることができ、市の愛着や興味関心もわく、6人いる。 2次効果も、市外からAPRにもなる。

グループC / 道で楽しむ

ワーク01 企画名を「ひとこと」でどうぞ！
シンボルロードを封鎖せよ！

ワーク02 ビジョンを描いてみましょう！
 シンボルロード が 封鎖 ()
 非・異日常 が 多様な人々が 魅力 () ()
 中心市街地がもっと 訪れたい まち になります。

ワーク03 その企画をすることで誰にどんな価値や効果を生み出しますか？
 普段何気なく通る道を楽しめる場所へ 変換させることで、市内外の人々が自由に 楽しめる魅力を創出します。

ワーク04 企画を具体的にしてみましょう！
 モデル ① こまきノスタルジックストリート
 モデル ② こまきアルブレットストリート
 モデル ③ マニアッククーア集合
 モデル ④ 駅前を呑み天・コミュニティにせよ！
 モデル ⑤ シンボルロード大運動会

中心市街地まちづくりワークショップ Cチーム

課題

- 「小牧駅 = 中心市街地 = 小牧山」をつなぐ「シンボルロード」が環境整備されているのに活用されていません
- 「小牧駅 = 小牧山」の約1.5kmを歩きたくなる要素が足りず市内在住者も市外来訪者も悲しいですね

解決策

「シンボルロード」を封鎖することで

非・異日常化 普段何気なく通る道が楽しめる場所へ変換

魅力多様化 さまざまな人々が自由に楽しめる魅力を創出

訪れたいまち 活力あるまち

歴史・文化の活用 思いやりの多い 多様な人が主体

↓

安定的に 活力あるまちへ

グループD / ストリートファニチャー

みんなで作る
**ストリート
ファニチャー**

中心市街地まちづくりワークショップ企画案

2023/1/15
グループD



ビジョン

ストリートファニチャーを設置して
そこで過ごす人が増えることで
シンボルロードがにぎわい
中心市街地がもっと活力があるまちになります。



企画想定効果

- 作成イベントの参加者**
 - ・自分が出たものが買われる**街への愛着**
 - ・イベントによるさまざまな**交流の機会創出**
- ベンチなど利用者**
 - ・楽しく**交流できる、くつろげる**場所ができる
 - ・外部地域が増えることにより**歩く距離が広がる**
- 小牧市**
 - ・市民の屋内施設利用が多い中、**屋外に出るきっかけ**になる
 - ・市外から来た人などに、**街のにぎわいが見える・伝わる**

グループE / 商品

ワーク01.企画名を「ひとこと」でどうぞ!

企画名
小牧市の知名度爆アゲ銘菓プロジェクト
～土産・地産～

ワーク02.ビジョンを描いてみましょう!

小牧の土産食料 (お土産) を **利用して市内の企業とコラボして商品化して** **売り出す**

地域の活性化を (因り) **小牧の知名度が高まる** (効果) になり、
中心市街地がもっと **訪れたいまち** になります。

ワーク03.その企画をすることで誰にどんな価値や効果を生み出しますか?

〈誰に〉	〈価値効果〉
小牧を訪れた人	小牧ブランド
市内の企業	⇒ プレミアム商品
小牧市民	作り手と買い手の 笑顔
	楽しいまち
	にぎわい

ワーク04.企画を具体的にしていきたいと思います!

企画内容
絵や図を描いてもOK!

5

小牧 × (企業 + 企業)
小牧ブランド商品
プレミアム商品

何でも訪れたいまち
小牧市

★ワークシートで作った企画を参考に、令和5年度は社会実験につなげていきます。

2. 中心市街地活性化プロジェクト「コマナカ meet」

中心市街地活性化プロジェクト

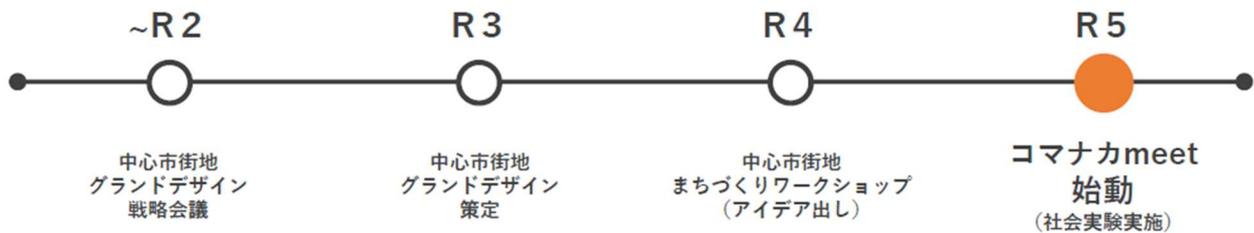
コマナカmeet

中心市街地活性化を目的に集い、出会った人々が、自ら企画を立て、チャレンジしながら街を元気にしていくプロジェクトです。

令和4年度にワークショップでアイデア出しを行い、今年度は社会実験として企画をスモールスタートします。小牧駅前を舞台に「地域の人々でつくった青空カフェ」と「こまき街なか大運動会」を開催。



» プロジェクト始動までの経緯



地域の人々でつくった 青空カフェ

開催日 **10月22日** 
10:00~16:00
※市民まつり2日目

地域の人々で考案した地産地消サンドイッチの販売と、同じく地域の人々でデザイン・制作したストリートファニチャーを設置して、駅前芝生広場を彩る「青空カフェ」を開きます。

※以降、サンドイッチは協力店舗の店頭で一定期間販売。
ストリートファニチャーは駅前中心に不定期設置。

こまき街なか 大運動会

開催日 **11月11日** 
10:00~15:00
※雨天の際、翌日開催

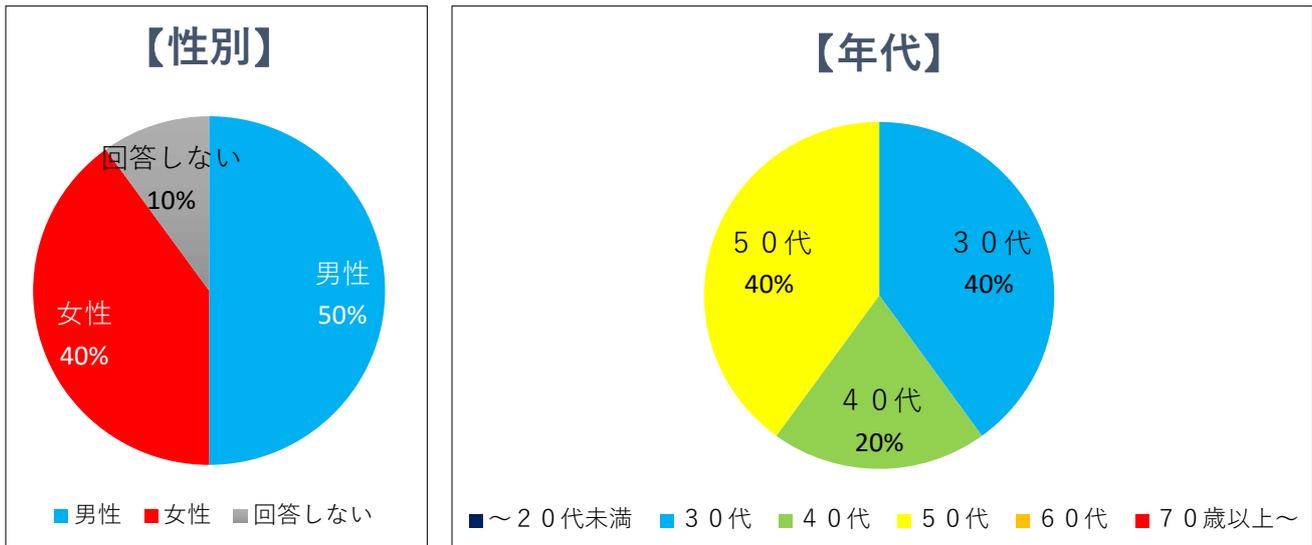
市道小牧駅西線を封鎖し、にぎわい広場とあわせて駅前の公共空間を一体的に利用する「運動会」を行います。当日はキッチンカーの出店や文化的な催しなど複合的なイベントとして開催。特別ゲストとして寺本明日香さんを招待します。

3. 本公園整備についてのアンケート調査

中心市街地プラットフォームアンケート結果

調査方法	中心市街地まちづくりプラットフォーム(LINE のオープンチャットを活用)
実施期間	令和5年6月16日(金)～令和5年6月21日(水)(6日間)
回答件数/母数件数	10件/101件 (回答率:9.9%)

【回答者属性】



○意見概要

【欲しい機能や空間】

■機能

➤ 遊具・巨大遊具(屋根付き)	➤ 駐車場・駐輪場
➤ 広場	➤ 自販機
➤ カフェ・キッチンカー	➤ 植栽(木陰・季節の花等)
➤ イベントスペース	➤ 子育て機能 (オムツ替え、授乳施設、多目的トイレ、その他保育機能・保育園)
➤ 水遊び、噴水、プール	➤ レンタル機能 (レンタサイクル、レジャーシート・サンシェードテント)
➤ 遊園地	➤ 中心市街地ワークショップ内容との連携(カフェ・ストリートファニチャー)
➤ 道の駅	
➤ RV パーク(キャンピングカーを利用したキャンプ場)	
➤ 小牧山と関連する機能・施設 (遊具・屋上テラス・駐車場)	
➤ トイレ空間(清潔・おしゃれ)	

■空間

➤ 憩いの場・交流の場・滞在できる空間
➤ 自然と豊かなくつろぎのある空間・癒しを感じられる空間

- 観光者が情報収集可能な空間
- 小牧市の歴史の展示
- 小牧の特産販売
- 維持管理がなされた清潔で美しい空間
- デザインが凝られた空間
- 安全に配慮した空間・バリアフリー（広場・高低差の配慮・ゴム舗装等）
- 世代や人種を問わず集える空間

【整備後の活用の仕方】

- 小牧駅から小牧山までの休憩地
- 商業地（市外から集客の視点）
- 市民が運営やイベントへの参加
- 施設の入れ替わり等常に新しさを提供できる工夫
- 周辺住民への配慮

○意見一覧

通番	欲しい機能や空間	整備後の活用の仕方
1	乳児も遊べる年齢別のスペース、オムツ替えや授乳ができる建物、子どもと一緒に入れる多目的トイレを多数、水遊びができる噴水、屋根がある巨大遊具（新潟よこごし公園みたいな）	なし
2	子育て応援と市がうたっているので、プールとか遊園地とか子育てに寄与する施設を作って欲しい。いっそう保育園でも良い。安易に交流とか憩いの場みたいな言葉ですでにたくさんある公園やスペースで済ませるのでは無く、どんな人に住んで欲しいとか戦略的に市街地がどうあるべきかコンセプトや戦略が無い中検討されているのが非常に残念です。	公園を辞められないのであれば、市街地の全体のバランスを見た時に、駐車場と商業拠点とすれば人の行き来が少しは活性化すると思う。
3	木陰、ミニ噴水、管理室（授乳施設やトイレなどが屋内整備されて、小さい子連れでも安心して利用できると良い）、カフェなどがあると嬉しいが自販機でも良い、駐車場は少し欲しいが、小牧山や駅前駐車場との一体利用も視野に入れた方がまちづくりとして良さそう、小学校高学年でも遊べる遊具、懐かしの富士山遊具などを小牧山にアレンジしてシンボルになるもの	駅西から小牧山をつなぐ要所になると思うので、休憩が心地よく出来、子育て支援センターも近いので子供達も遊べるような、全年齢楽しめる施設になって欲しい
4	バリアフリー、道の駅&RV パーク	他所から小牧へ来訪してもらおう&お金を落としてもらおう
5	市民にとっての憩いと交流の場所であり、観光者にとって情報収集・交流の場となるような機能や空間。例、子育て世代や高齢者も快適に滞在できる空間（遊具、保育機能、カフェ、イベントスペースなど）、小牧市の歴史展示、レンタサイクル（ただし道路の整備も必要と思われる）、小牧の特産販売	

通番	欲しい機能や空間	整備後の活用の仕方
6	緑と水、光と影、自然豊かなくつろぎのある空間。高いネットで囲まれたスペースではなく、癒しを感じられる空間	利用者が責任者を持って運営される市民による、市民のための自立した公園
7	美しく清潔に保たれるトイレ空間が必要だと思います。おそらく、公園の魅力度をあげる様々なアイデアが届いていると思います。もちろんそれも大事なのですが、『魅力を下げないこと』も大切にして欲しいです。その最たる例がトイレです。どんなに素敵な場所でもトイレが臭ったり不衛生だったりすると行きたくなくなります。憩い、交流できる場所と記載がございますので、来訪者はそれなりの滞在時間があると想定すると、その中でほぼほぼトイレ体験が発生するでしょう。その際に悪い印象を与えると全体のイメージダウンに繋がると考えます。最近、公園にお洒落な施設を併設するところが増えていますが、トイレにまで気がまわっていない所が非常に多く残念な気持ちになります。コロナを経て人々の衛生観念が高まっていることを留意頂きたいです。カフェに併設されるのか、別建てのトイレが設置されるのか分かりませんが、屋外トイレは本当に衛生環境が悪化しやすいです。図書館も未来館も本当に良い施設なので、この跡地にもきっと素晴らしいものができるかと期待しています。その反面、トイレのことが非常に気になります。改めまして、美しく清潔に保たれるトイレ空間の設置・維持を切に願います。	駅前や小牧山のふもとでマルシェとかやっていますが、同じことをしてもつまらないかなと感じます。せっかくカフェ？ハコモノを設置するのなら、その活用が大事だと思います。チャレンジショップとかいいんじゃないでしょうか。もしくは1年の借事契約でテナントをまわすとか。いずれにしても、『単一の店舗ですべてやっていると立地ではない』と思うので、常に真新しさを用意できる工夫がないと、あっという間に腐れてしまうような気がします。今の時代、美味しかったり映えるのは大前提なので、小牧は飲食店が少ないからOKみたいな考えだと通用しないです。サウンディング？市場調査の結果見ても、安易な提案だなーと素人目に見ても感じたので民間事業者様にはよろしく頼むぞと伝えて欲しいです。
8	・屋上テラスから小牧山城を一望できると良いと思います。・ロードバイクで気軽に立ち寄れるよう、自転車置き場を考慮してほしいです。・デザインの凝った外観、内装がいいです。・子供が走りまわられるような広場がほしいです。砂などより柔らかい素材で服が汚れない広場で高低差(坂道や凹凸面(保護者が座れるような))があると遊具より怪我の心配がないかと思う。パークコートゴムチップカラーとかどうですか?色もたくさんあります。https://www.abct.co.jp/products/detail/9118.html	レジャーシートやサンシェードテントがレンタルできると良いと思います。
9	駅徒歩圏で、小牧山までの道、メナード美術館や市民病院からも近いので、とても小牧で、肝になるエリアだと思います。すでに、緑化と決まっているなら、とにかくにも、人が集まる憩いの場所になってほしいです。欲しい機能や空間…漠然とは難しいのですが、当たり前ですが、○お手洗い(少しおしゃれだったり、機能的でもある～)○飲食(建物を建てられずの場合は、移動的なキッチンカーや移動性のある小ぶりな建物などに、ドリンクやフード…特性のあるものなども)○季節を彩る花々を植え、そこに行った時に、癒され笑顔と なる空間に。映えスポットなども。○ご案内いただいた、岐阜高専のブロック型の椅子&テ	整備後の活用… 長期的な願いは、前回のワークショップでのタイムピクニックなイメージで、時代エリア分けなどで、中間地点なので、「今エリア」などにできたらと思ってますが、まずは、プレテスト的に、定期的なイベント、年間での、目玉的なイベントなど。中高大学生と若い方々が将来を見据えての何か体験的なエリア、外国人の方々エリア、障がいのある方々なども集えるエリア など。花々などの手入れなどもですが、老若男

通 番	欲しい機能や空間	整備後の活用の仕方
	<p>ーブルなども良いですね(デザインは、すでに、こまくるのバス停などにもありおしゃれだと思っています) ○様々な公園を彩るモノは多々あると思いますが、恒久的でなく、いろいろ変化となるエリアなら、移動出来るもので。</p>	<p>女、多様性を踏まえた、雇用なども、ぜひ、市の協力のもと、実現してもらいたいです。今後、空き家の買取や整理がうまく実現して、実施しやすい広さを確保できるまでの、プレとしての、伸びしろあるスポットなどに。他のエリアもですが、図書館や未来館など、成功している例を見ると、15万の人口皆が様々なところで、集える活気となることを願います。</p>
10	<p>観光や地域の人が望む飲食店が欲しいが、常に営業して採算がとれるとは思えないので、キッチンカーや週替りでの営業ができるハードの設備を整えてほしいです。</p>	<p>観光案内所や小牧を市内外に知ってもらうスペースはほしいです。イベント等は合っても良いが、音が出るものはNGにしないと、周辺住民の方たちを不快に思うと思う。</p>